

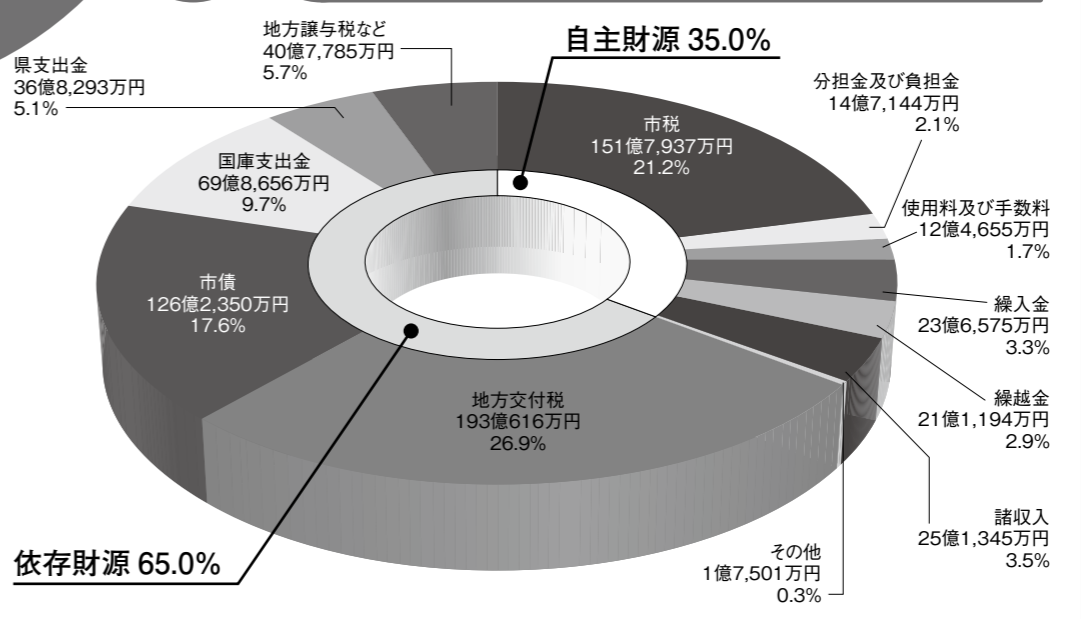
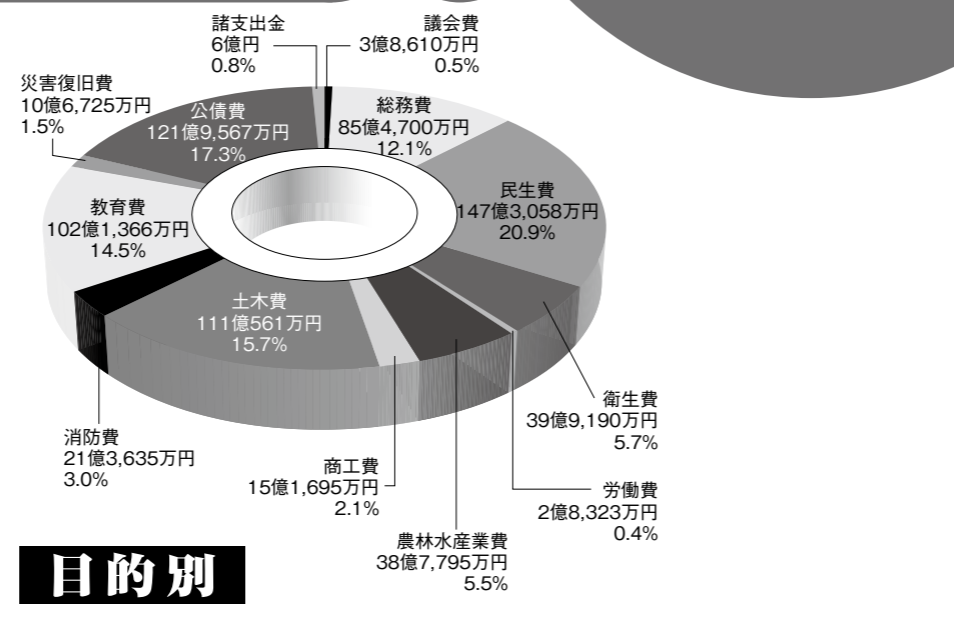
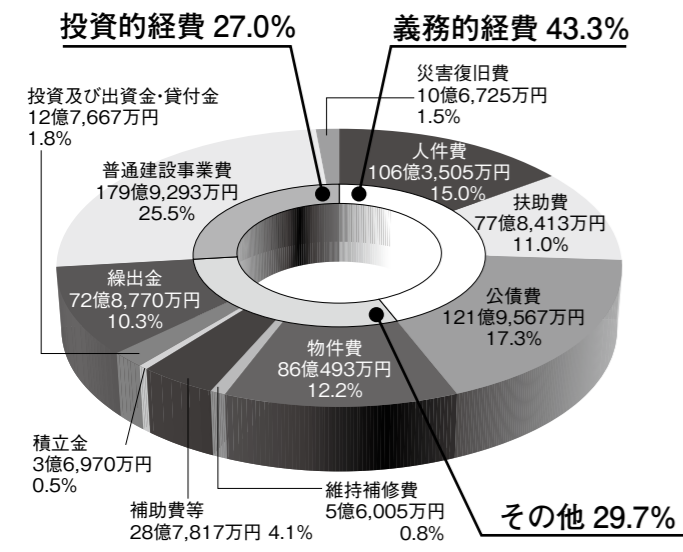
平成18年度決算報告

平成18年度の決算が9月議会で認定されましたので、お知らせします

●決算についての財政課 おたずねは (0266008)

一般会計 歳入 717億4,051万円 歳出 706億5,225万円

性質別



企業会計

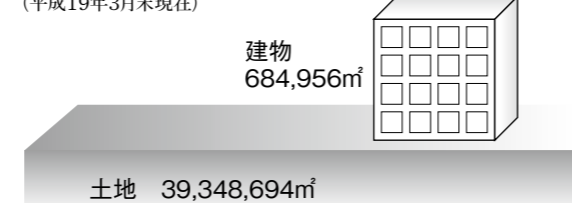
※収益的収支は、1年間の営業収支
※資本的収支は、設備投資などに伴う収支。収入不足額は、損益勘定内部留保資金等(積立金など)で補てんします

水道事業会計 (税込み)	収益的収支	収入 24億3,114万円 支出 20億8,722万円	病院事業会計 (税込み)	収益的収支	収入 23億4,442万円 支出 26億8,503万円
	資本的収支	収入 11億3,661万円 支出 23億6,484万円		資本的収支	収入 2億1,801万円 支出 3億1,691万円

財政指標

	18年度	17年度	説明
経常収支比率	94.2%	90.6%	財政構造の弾力性を示します。低いほど財源に余裕があります。
実質公債費比率	21.1%	18.2%	実質的な借金返済負担度を過去3か年の平均値で示します。18%を超えると、地方債の発行に県の許可が必要になります。
財政力指数	0.480	0.460	財政基盤の強さを過去3か年の平均値で示します。1に近いほど財源に余裕があります。

公有財産



一般会計・特別会計 監査委員の審査意見書から

【平成18年度の決算状況の概要】
一般会計と特別会計を合わせた決算総額は、歳入が121億5,610万円(対前年度比3.4%増)、歳出が120億2,225万円(対前年度比4.6%増)、収支差引額15億4,385万円、これから翌年度へ繰り越すべき財源7億7,795万円の黒字という結果です。

【財政状況】
財政状況の数値(上表)を前年度と比較すると、財政力指数こそ若干の改善となっているものの、その他の指数はいずれも悪化しています。今後もしばらくは悪化傾向が続く見込みであり、出雲市の行く末を危惧するところではあります。

一方、地方債残高は、一般会計と特別会計を合わせた平成18年度末が192億7,500万円、前年度より39億9,275万円、率にして約2%増加しています。地方債残高削減に向け、引き続き努力を望みます。

【今後の出雲市の財政について】
人件費をはじめとする行政コストの削減はもとより、負担金・補助金の見直しなど、行政改革を早期に断行し、財政破綻が現実な問題とならないよう気を引き締めて財政運営に当たってくださいます。財政健全化による長期的に安定した市政運営を強く望みます。

特別会計

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	127億9,419万円	125億4,294万円	2億5,125万円
国民健康保険橋波診療所事業	1,441万円	980万円	461万円
診療所事業	9,806万円	8,984万円	822万円
老人保健医療事業	146億2,468万円	148億5,153万円	△2億2,685万円
介護保険事業	107億3,374万円	104億2,349万円	3億1,025万円
簡易水道事業	13億7,473万円	13億4,298万円	3,175万円
下水道事業	77億8,939万円	77億4,206万円	4,733万円
農業・漁業集落排水事業	17億1,885万円	17億982万円	903万円
浄化槽設置事業	1億8,957万円	1億8,957万円	0円
風力発電事業	4,192万円	4,192万円	0円
ご縁ネット事業	1億7,039万円	1億6,812万円	227万円
企業用地造成事業	7,743万円	7,743万円	0円
駐車場事業	1億3,004万円	1億3,004万円	0円
サイクリング・ターミナル事業	1,248万円	1,248万円	0円
住宅新築資金等貸付事業	925万円	925万円	0円
高野令一育英奨学事業	577万円	577万円	0円
廃棄物発電事業	3,101万円	1,993万円	1,108万円
合 計	498億1,591万円	493億6,697万円	4億4,894万円

※老人保健医療事業の差引不足は、繰上充用金で補てん